

平成 30 年度 学会発表・講演等

【学会発表】

- 1) 当院における脂肪乳剤の使用状況及び投与速度適正化に向けた取り組み
間宮和輝
第 57 回全国自治体病院学会、2018. 10 (郡山)
- 2) Therapeutic drug monitoring of lapatinib for assessing lapatinib-induced skin rash in patients with breast cancer
大神正宏
IATDMCT 2018, 2018. 9 (Brisbane, Australia)
- 3) 当院における妊娠中の薬剤使用状況調査
小森美穂子
第 29 回茨城県薬剤師学会、2018. 11 (つくば)
- 4) 「院外処方箋に係る疑義照会簡素化プロトコル」の運用について
鈴木麻紗子
第 29 回茨城県薬剤師学会、2018. 11 (つくば)
- 5) 薬剤師による多施設共同臨床研究の体制構築
大神正宏
第 28 回茨城がん学会、2019. 1 (水戸)
- 6) 外来がん化学療法における服薬指導について
坪山勝平
第 28 回茨城がん学会、2019. 1 (水戸)
- 7) 免疫抑制・化学療法患者における B 型肝炎ウイルススクリーニング実施状況調査
島田浩和
第 28 回茨城がん学会、2019. 1 (水戸)
- 8) ベバシズマブ製剤の複数回使用と経済性に関する検討
立原茂樹
日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2019、2019. 3 (札幌)
- 9) ペグフィルグラスチムの投与タイミングが発熱性好中球減少症の発症率に与える影響
小島友恵
日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2019、2019. 3 (札幌)

【講演】

- 1) 分子標的抗がん剤の TDM 診療報酬拡大を目指して～肺癌領域におけるがんチロシンキナーゼ阻害薬の TDM
大神正宏
第 35 回日本 TDM 学会・学術大会、2018. 5 (福岡)
- 2) 外来化学療法における副作用対策
大神正宏
第 3 回鹿島地区オンコロジー講演会、2018. 6 (鹿嶋)
- 3) 免疫チェックポイント阻害薬の副作用対策
大神正宏
笠間地区薬薬連携研修会、2018. 6 (笠間)
- 4) 茨城県がん診療連携協議会研修部会薬剤師分科会の活動紹介～多施設共同臨床研究グループの構築～
大神正宏
地域がん診療連携拠点病院薬剤師セミナー、2018. 8 (つくば)
- 5) 分子標的治療薬における副作用対策
大神正宏
日本病院薬剤師会関東ブロック第 48 回学術大会、2018. 8 (宇都宮)
- 6) チロシンキナーゼ阻害薬の薬物相互作用
大神正宏
第 28 回日本医療薬学会年会、2018. 11 (神戸)
- 7) 当院における irAE 発現状況
大神正宏
平成 30 年度がん医療セミナー、2018. 11 (つくば)
- 8) 院外処方せんに係る事前同意プロトコルについて
鈴木麻紗子
笠間地区緩和医療薬学研修会、2019. 1 (笠間)
- 9) オピオイドを適正に使用していくために～事例検討を通して学ぶ～
立原茂樹
県央地区緩和ケアネットワーク研修会、2019. 3 (笠間)
- 10) Precision dosing を目指した TKI と抗体医薬品の TDM～ラパチニブ、エルロチニブの TDM
大神正宏
日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2019、2019. 3 (札幌)

【論文】

- 1) Effects of proton pump inhibitor co-administration on the plasma concentration of erlotinib in patients with non-small cell lung cancer

大神正宏

Therapeutic Drug Monitoring, 40(6), 699-704, 2018

【著書】

- 1) 分子標的抗がん薬と胃酸分泌抑制薬との薬物相互作用

大神正宏

月刊薬事 61 (4), 607-611, 2019